前線に伴う洪水等を対象とした、直轄河川管理区間沿川の市町村の避難勧告の発令等に着目したタイムライン（防災行動計画）(案)

※避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン（案）（内閣府：平成26年4月）を参考に作成。また、都道府県からの情報もあるが、割愛している。
※時間経過や対応項目については想定で記載しており、各地域や自治体の体制及び想定する気象経過に応じた検討が必要である。

気象・水象情報

-48h
- ◇降雨予報
- ◇大雨と雷に関する秋田県気象情報（随時）

-24h
- ○前線（大雨）に関する気象庁記者会見
- ◇大雨注意報・洪水注意報発表
- ■秋田地方気象台より情報提供
- ○前線（大雨）に関する気象庁記者会見
- ◇大雨・洪水警報発表

-6h

-4h
- 水防団待機水位到達
  雄物川橋水位観測所（水位2.0m）
  柳田橋水位観測所（水位1.4m）
  岩館水位観測所（水位2.6m）

- 氾濫注意水位到達
  雄物川橋水位観測所（水位3.0m）
  柳田橋水位観測所（水位2.0m）
  岩館水位観測所（水位3.1m）

-3h
- 避難判断水位到達
  雄物川橋水位観測所（水位4.2m）
  柳田橋水位観測所（水位3.5m）
  岩館水位観測所（水位3.2m）

- ■ホットライン（秋田地方気象台）
- ○前線（大雨）に関する気象庁記者会見
- ◇大雨特別警報発表

-2h
- 氾濫危険水位到達
  雄物川橋水位観測所（水位4.5m）
  柳田橋水位観測所（水位4.2m）
  岩館水位観測所（水位3.9m）

0h
- 堤防天端水位到達・越流

氾濫発生

※気象・水象情報に関する発表等のタイミングについては、地域・事象によって、異なります。

湯沢河川国道事務所

- ○施設（堰、樋門樋管等）の点検、操作確認
- ○災害対策用資機材・復旧資機材当の確保
- ○リエゾン体制の確認　○関係機関の体制確認
- ○高水流量観測体制の確認　○ダム放流状況の把握
- ○河川工事の中止、機材撤収、安全確認

【体制準備】
※3時間予測で今後の水位上昇を確認、注意体制の準備に入る
- ○CCTVによる監視強化
- ○応援体制の確認（防災エキスパート等）

【注意体制】
- 水防警報（待機・準備）
- ○施設（堰、樋門樋管等）の操作
- ■水位の見込み情報

【警戒体制】
- 洪水予報（氾濫注意情報）
- 水防警報（出動）
- ○出水時点検（巡視）
- ○CCTVによる監視強化
- ○防災エキスパートの要請
- ■水防警報（指示）
- 洪水予報（氾濫警戒情報）
- ○出水時見地調査
- ■リエゾンの派遣
- ■漏水・侵食情報
- ■ホットライン
- ■災害対策機械の派遣

【非常体制】
- 洪水予報（氾濫危険情報）
- ■ホットライン
- 洪水予報（氾濫発生情報）
- 緊急復旧、堤防調査委員会設置
- ○被害状況の把握（ヘリコプター等による迅速な状況把握）
- ○TEC-FORCEの活動
- ○被害状況・調査結果等の公表

羽後町

- 水防本部準備体制
- ■防災担当者、情報収集開始
- ○消防署への情報提供　○水防資機材の確認・確保
- ○消防団員等への注意喚起　○休校の判断、体制の確認等

- 水防本部警戒体制
- ○消防団員等、自宅待機　○避難の必要な状況が夜間・早朝の場合、避難準備情報の発令判断
- ○管理職の配置
- ■要援護者関連施設への情報提供　○避難所の開設準備
- ■消防団員等、出動　○首長若しくは代理者の登庁
- ○要援護者関連施設へ洪水予報伝達　○非常警戒、重点巡視
- 避難準備情報
- ○要援護者関連施設へ洪水予報伝達　○避難所の開設
- ○警察官の出動要請
- ■水防活動情報
- ■避難準備情報、必要に応じて助言の要請
- ■災害対策機械の派遣要請
- 水防本部非常体制
- 避難勧告
- ■避難勧告情報、必要に応じて助言の要請
- 避難指示
- ○他の水防管理者、市町村長、消防長への応援要請
- ○自衛隊への派遣要請
- ○避難者への支援

住民等

- ○テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等の確認
- ○ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認
- ○防災グッズの準備
- ○災害・避難カードの確認
- ○自宅保全
- ○テレビ、インターネット、携帯メール等による大雨や河川の状況を確認
- ○警鐘信号、サイレン信号、広報車等による避難準備情報の受信
- 要援護者避難開始
- ○要援護者の避難開始、
- ○要援護者以外は避難準備開始
- 避難開始
- ○消防団、広報車等より、避難指示・避難勧告を受信
- 避難完了
- 最終的な危険回避行動
- 避難解除